

<b>科目名</b>	<b>国語</b>	<b>科目コード</b> 20010
------------	-----------	-----------------------

<b>専攻名・学年</b>	<b>電気電子システム 工学科 1年</b>	<b>担当教官</b>	<b>金田 啓子</b>		
<b>単位数</b>	<b>3単位・必履修</b>	<b>開講期間</b>	<b>通年</b>	<b>時間数</b>	<b>90時間</b>
				<b>内訳<sup>(時間)</sup></b>	講義(90), 演習() 実験(), その他()
<b>教科書</b>	国語総合(現代文編・古典編) (東京書籍) 基礎からの国語表現の実践 (京都書房)				
<b>補助教材</b>	新総合図説国語 (東京書籍) 30回完成標準漢字 (受験研究社) その他、担当者によるプリント等。				
<b>参考書</b>	授業時間中に随時指示する。				

<b>A 科目の概要</b>	
中学校での学習を発展させ、国語を正しく理解し、適切に表現するための力を養う。3単位中おおむね2単位を現代文および古典の読解に、おおむね1単位を国語表現に当て、1年間の学習を通して、思考力を向上させ、情操を豊かにし、伝え合う力を高める。また、言語文化の諸相に触れることによって、自らの世界観を広げ、生活を充実させる態度を育てる。	
<b>B 到達目標</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。</li> <li>・さまざまな文章を読んで、ものの見方・感じ方・考え方を広げる。</li> <li>・常用漢字の読み方・書き方に習熟する。</li> <li>・国語の表現の特質を理解し、言語表現への関心を高める。</li> <li>・文語のきまり、訓読のきまりなどを理解する。</li> </ul>	
<b>C 長岡高専の学習・教育目標との対応</b>	(B)
<b>D 履修上の注意</b>	
平生の予習・復習を欠かさないことが何よりも重要である。授業で扱う教材は、事前に必ず通読し、語句の読みや意味を調べておくこと。特に、古文・漢文については、音読の練習を欠かさないこと。また、辞書や参考書を活用する習慣を身につけること。	
<b>E 評価方法</b>	
4回実施する試験を中心に、小テスト・提出課題・授業への参加度を加味して評価する。	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	授業の進め方について・評論文の読解(1)	
2	評論文の読解(2)	
3	国語表現の実践(1)	
4	小説の読解(1)	
5	小説の読解(2)	
6	国語表現の実践(2)	
7	古文の基礎(1)	
8	前期中間試験	
9	古文の基礎(2)	
10	漢文の基礎(1)	
11	漢文の基礎(2)	
12	評論文の読解(3)	
13	評論文の読解(4)	
14	国語表現の実践(3)	
15	前期期末試験	
16	小説の読解(3)	
17	小説の読解(4)	
18	国語表現の実践(4)	
19	基礎的な古文の読解・鑑賞(1)	
20	基礎的な古文の読解・鑑賞(2)	
21	詩歌の読解・鑑賞(1)	
22	詩歌の読解・鑑賞(2)	
23	国語表現の実践(5)	
24	後期中間試験	
25	基礎的な漢文の読解・鑑賞(1)	
26	基礎的な漢文の読解・鑑賞(2)	
27	評論文の読解(5)	
28	評論文の読解(6)	
29	国語表現の実践(6)	
30	学年末試験	